

キャンパスの緑が育む 里地・里山の生態系

BKC（びわこ・くさつキャンパス）には、30年以上前から保全している自然緑地を中心に、里山林、調整池やスタジアムなどの草地、緑地をつなぐ樹林帯など様々な環境があります。

これらの環境には、希少種を含む700種以上の動植物が暮らし、豊かな里地・里山の生態系を形成しています。

また、田上山地の自然や草津市街に残された緑地ともつながりを保ち、地域に暮らす鳥や昆虫、哺乳類などの生活の場としてだけでなく、移動経路にもなっていると考えられます。

■ キャンパスの生物多様性 3つのポイント



里山林での落ち葉かき

里地・里山の維持

BKC や周辺地域には、かつて草津市内に広がっていた里地・里山が今も残されています。キャンパス内では、近年荒廃が進む里地・里山を管理し、地域の動植物たちの生育地として維持しています。



滋賀県の希少種 サギソウ

希少種の保全

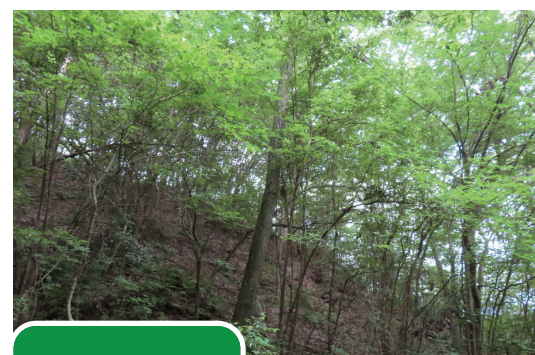
BKC には40種を超える希少種など（国や近畿地方、滋賀県のレッドリスト選定種）が生育しています。これらを生態系のシンボルとして保全することで、地域の自然や生きものたちを守ることにも貢献しています。



牟礼山山頂付近から琵琶湖をのぞむ

地域の自然とのつながり

BKC は、その名の通り琵琶湖から草津市街、そして田上山地との連続性の中に位置しています。飛翔する鳥や昆虫、地面を歩く哺乳類や爬虫類など様々な生きものたちが、餌場やねぐら、子育ての場所だけではなく、移動経路としても利用しています。



地域の自然とつながる 里山林

牟礼山など地域の自然とつながりを持った樹林には、なじみ深い里山の動物たちが行き交っています。



身近な緑 キャンパス プロムナード

在来植物を用いた立体的な植栽です。学生が利用する傍らには、鳥やトカゲなどの小動物が暮らしています。



キャンパスの 緑をつなぐ 樹林帯

道路沿いに植えられた樹木は、キャンパス内の緑をつなぎ、鳥や昆虫などの移動経路になっています。



希少種たちの生育地 自然緑地

自然度の高いヌマガヤ湿原や、希少な湿生植物が多数生育する貧栄養湿原が保全されています。



人が維持する 里草地

調整池の遊休地やスタジアムの法面では、定期的な草刈によって良好な草地環境を維持しています。

いきものマップ

BKC（びわこ・くさつキャンパス）には、700種を超える動植物、40種を超える希少種が暮らしています。足元には小さな花が咲き、耳をすませば木々に間から鳥たちの鳴声が聴こえてきます。

キャンパスの自然に目と耳を向ければ、いろいろな動植物に出会うことができるでしょう。みなさんも身近な緑でいきものを探してみませんか？

地域の自然とつながる里山林



ネズミサシ

ヒノキ科の針葉樹。ねずみを刺すほどに葉先は鋭くとがる。



滋賀：希少種
キビタキ

春～秋に日本に飛来して子育てする渡り鳥。オスは黄色が目立つ。



国：絶滅危惧Ⅱ類
滋賀：希少種
サンショウクイ

「ヒリリ♪」と鳴きながら森の上を飛び。春～秋に見られる渡り鳥。



コナラ

薪や炭材に利用されてきた落葉高木。秋にドングリを実らせる。



リョウブ

はげ落ちた樹皮が特徴の落葉樹。初夏～夏に白い花をつける。



コゲラ

日本最少のキツツキ。樹木の幹に巣穴をあけて子育てをする。



ノギリクワガタ

里山の雑木林を好む。夜にコナラやアベマキなどの樹液に集まる。



タカノツメ

三枚の葉をつける落葉樹。秋には黄色く紅葉して里山を彩る。



ネジキ

ねじれた樹皮が特徴のツツジの仲間。春～初夏に白い花をつける。



幼虫

シオカラトンボ

成虫はチョウやハエなどを食べる。プロムナードの水辺に幼虫が生息。



里山林

グラウンド

キャンパスプロムナード

里草地

Daigas エナジースタジアム
(クインススタジアム)

自然緑地

雑木林

里草地

樹林帯

グラウンド

調整池

ヌマガヤ湿原

キャンパスの緑をつなぐ樹林帯



シジュウカラ

林縁や樹林帯にいて、「ツツピー♪」という鳴声で気づくことが多い。



メジロ

体は黄緑色で目の周りが白い小鳥。数羽の群れていることが多い。



ウチワヤンマ

尾の先がうちわのように膨らむ。樹林帯で若い成虫が休息している。



アカマツ

赤い樹皮のマツの仲間。松ぼっくりの中には翼を持ったタネがある。



モチツツジ

明るい林に生育し、春に淡桃色の花を咲かせる。

身近な緑キャンパスプロムナード



ヒヨドリ

街路樹などにとまって大きな声で「ヒーヨ♪」と鳴く。年中見られる。



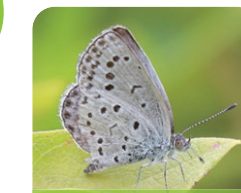
ニホンカナヘビ

小さなトカゲの仲間。地面を歩き、プロムナードの石組に隠れる。



ヒバリ

春に里草地の上空でさえずりながら飛翔。草むらの地面に巣を造る。



ヤマトシジミ

小さなシジミチョウの仲間。明るい草地を好み、花の蜜を吸う。



国：準絶滅危惧
コオイムシ

水生カメムシの仲間。カマ状の前あしで水中の小さな生物を捕る。



花

トウカイコモウセンゴケ

草丈5 cm 程の食虫植物。葉の粘液で小さな虫を捕らえて消化する。



滋賀：希少種
ノハナショウブ

野生のアヤメ。初夏に赤紫色の大きな花を咲かせる。



ウグイス

美しい声で「ホーホケキョ♪」とさえずる。見た目は茶色で地味。



アキアカネ

夏は高山へ避暑し、秋に平野に降りる。開発や農業などにより激減。



アカマツ

明るい林に生育し、春に淡桃色の花を咲かせる。